



令和 7 年 1 1 月 2 6 日

原爆放射線医科学研究所  
被爆 80 年企画シンポジウムを開催します

原爆放射線医科学研究所では、「被爆 80 年に見る広島大学の科学と平和」と題し、以下のとおりシンポジウムを開催いたします。

被爆 80 年の節目の年に、広島から平和のあり方を改めて考える機会となれば幸いです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日 時 : 2025 年 12 月 20 日(土) 13:00~16:20  
会 場 : 霞キャンパス内 凌雲棟 3 階 R304 (広島市南区霞 1-2-3)  
対 象 : どなたでもご参加いただけます  
参加費 : 無料  
申込み : チラシに記載の申込フォームから  
タイトル : 「被爆 80 年に見る広島大学の科学と平和」

<プログラム>

【第 1 部 [講演]】 霞キャンパス被爆 80 年の現在地

- ・大学院医系科学研究科(医) 教授 村上 祐司
- ・大学院医系科学研究科(歯) 教授 柿本 直也
- ・大学院医系科学研究科(薬) 教授 紙谷 浩之
- ・原爆放射線医科学研究所 教授 廣橋 伸之

【第 2 部 [報告]】 ノーベル平和賞と広島大学の科学者

- ・日本パグウォッシュ会議代表 (情報メディア教育研究センター教授)  
稲垣 知宏 及び 学生
- ・IPPNW 日本支部事務総長 (原爆放射線医科学研究所教授)  
田代 聡 及び 学生

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ (原医研主担当)  
TEL:082-257-5802 FAX:082-255-8339

広島大学原爆放射線医科学研究所 被爆80年企画シンポジウム

# 被爆80年に見る 広島大学の 科学と平和



## －第1部－

### 霞キャンパス被爆80年の現在地

13:00～14:50 (予定)

広島大学医学部の前身校・県立広島医科大学は、1945年8月5日に開校しました。戦後、医学部は陸軍兵器補給廠の赤レンガから出発し、現在の霞キャンパスが形作られてきました。第1部では、原爆を経験し、命を奪う軍事の場から転換して命を生かす医療と医学の場となって、地域とともに歩んだ霞キャンパス－医学部、歯学部、薬学部、原爆放射線医科学研究所－の【これまで】を振り返り、【これから】を考えます。

#### ▼ 講演 ▼

大学院医系科学研究科（医）教授 村上 祐司  
大学院医系科学研究科（歯）教授 柿本 直也  
大学院医系科学研究科（薬）教授 紙谷 浩之  
原爆放射線医科学研究所 教授 廣橋 伸之

## －第2部－

### ノーベル平和賞と広島大学の科学者

15:00～16:20 (予定)

今秋、ノーベル平和賞を受賞した科学者組織の大会が2つの被爆地で開催されますが、ここに、広島大学の研究者が尽力しています。第2部では、広島開催のバグウォッシュ会議で活躍する稲垣 知宏 日本バグウォッシュ会議代表（情報メディア教育センター教授）と長崎開催のIPPNW（核戦争防止国際医師会議）世界大会に奔走した田代 聡 IPPNW日本支部事務総長（原爆放射線医科学研究所教授）にご報告いただきます。

#### ▼ 報告 ▼

日本バグウォッシュ会議代表  
（情報メディア教育研究センター教授）  
稲垣 知宏 及び 学生  
IPPNW日本支部事務総長  
（原爆放射線医科学研究所教授）  
田代 聡 及び 学生

2025年

12月20日(土)

13:00～16:20

(12時半受付開始)

広島大学 霞キャンパス  
凌雲棟3階(R304)

入場無料

お気軽にご参加ください！



霞キャンパスへの  
アクセスはこちら↑



凌雲棟

お申込は  
こちら！



<https://forms.office.com/r/Z2jtJnkHd7>

お問い合わせ 広島大学原爆放射線医科学研究所  
☎082-257-5802